

# 市の事務・事業における温室効果ガス排出量について

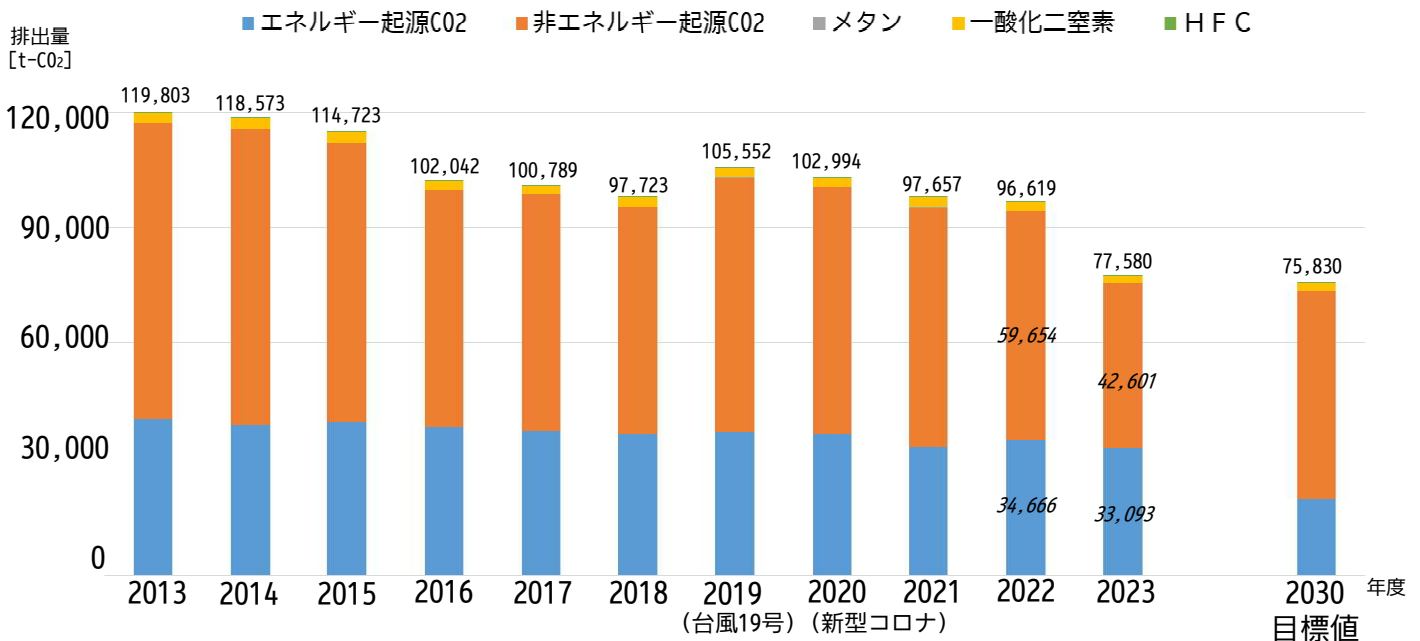
## 1 市の事務・事業における温室効果ガス排出量

	2013年度 <基準年度>	2022年度実績 <2013年度比>	2023年度実績 <2013年度比>	2030年度目標 <中期目標>
温室効果ガス排出量 [t-CO <sub>2</sub> ]	119,803	96,619 (-19.4%)	77,580 (-35.2%)	75,830 (-36.7%)

### <事務・事業における温室効果ガス排出量 とは>

- ・市職員の業務や公共施設の運営等に伴う温室効果ガス排出量
- ・エネルギー（電気、ガス、ガソリン等）の使用量等から算出（毎年度7月に各課より集計）
- ・地方公共団体実行計画（事務事業編）策定・実施マニュアルに基づき算出

## 2 市の事務・事業における温室効果ガス排出量の推移



エネルギー起源CO<sub>2</sub>・・・公共施設の電気使用、公用車の燃料使用 等  
 非エネルギー起源CO<sub>2</sub>・・・ごみ処理施設における廃棄物の焼却

## 3 分析と対策について

### ◆排出量減少の要因

#### ①エネルギー起源CO<sub>2</sub>

- ・2022年度：34,666[t-CO<sub>2</sub>] → 2023年度：33,093[t-CO<sub>2</sub>] (1,573[t-CO<sub>2</sub>] (約4.5%) 減少)
- ・庁舎のLED化、車両のEV化、各施設の省エネルギーの取組による。

#### ②非エネルギー起源CO<sub>2</sub>

- ・2022年度：59,654[t-CO<sub>2</sub>] → 2023年度：42,601[t-CO<sub>2</sub>] (17,050[t-CO<sub>2</sub>] (約28.6%) 減少)
- ・ごみ焼却量の減少による。

### ◆今後の対策

- ・照明設備の更なるLED化
- ・公共施設への太陽光発電設備の導入
- ・施設改修時のZEB化等